

# 土砂災害ハザードマップ

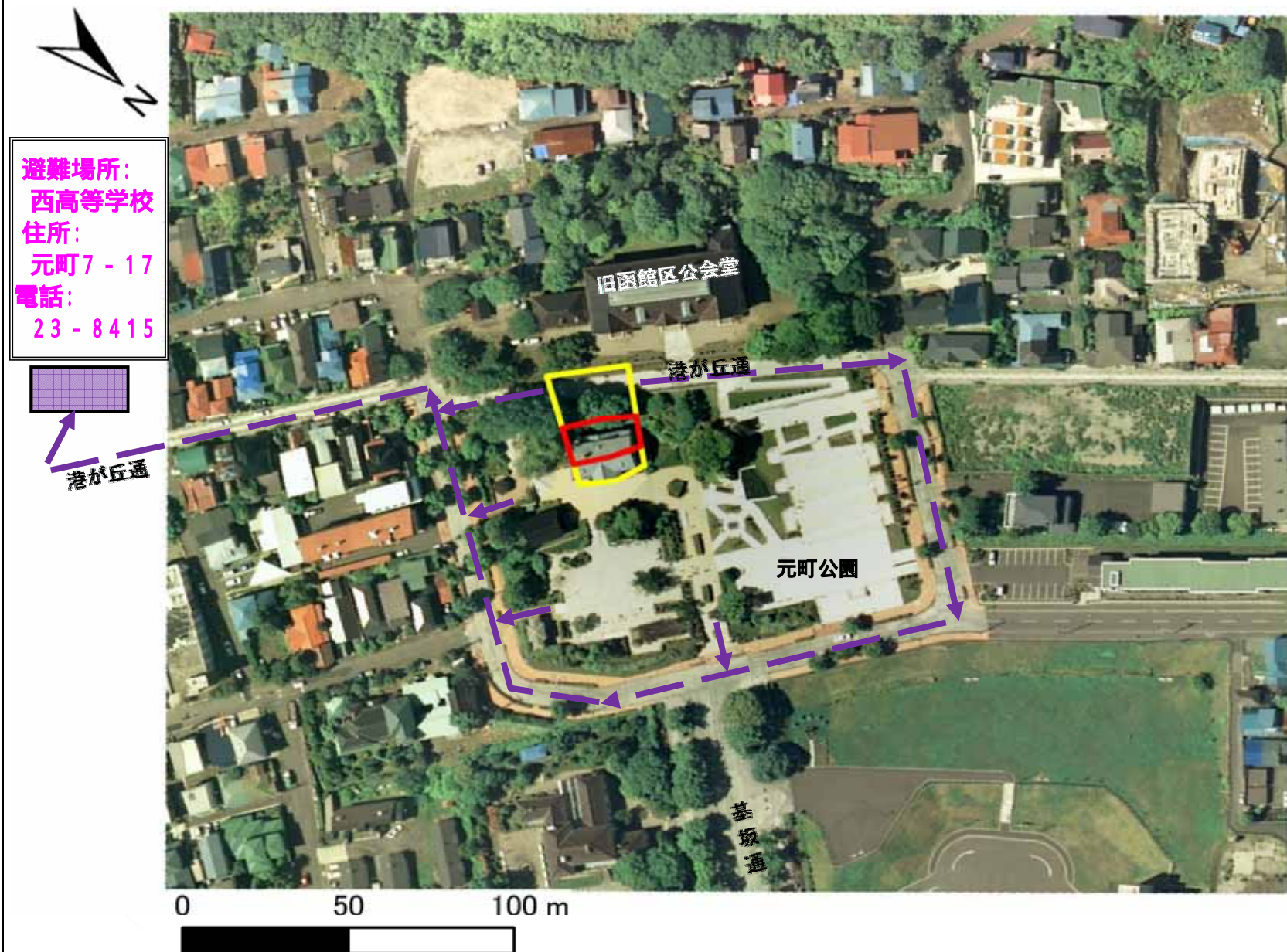
## 【函館市元町 函館元町2】

土砂災害に関する問い合わせ  
渡島総合振興局  
函館建設管理部 (代表)0138-47-9400

作成年月日：平成 22年 9月 22日  
発行元：函館市総務部総務課 0138-21-3648  
避難場所：函館西高等学校 0138-23-8415

このマップは、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」第7条に基づき、警戒区域が指定された地域を対象に作成・配布するものです。

(注意)この航空写真は配布時点のものではありません。 [ 自然現象の種類：急傾斜地の崩壊 ]



避難場所：  
西高等学校  
住所：  
元町7-17  
電話：  
23-8415

位置図



凡例

項目	記号
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	
避難場所	
主な避難経路	

### 重要です！

避難が必要な場合は、市の広報車や消防車などで皆さんにお知らせいたしますが、自らも危険を感じた場合でも、自主的に避難するとともに、市役所に連絡しましょう。

テレビやラジオなどで積極的に雨量、予報、警報などの情報を入手しましょう！  
北海道防災情報 <http://www2.bousai-hokkaido.jp/>  
函館市防災情報 <http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/soumu/bousai/>  
函館海洋气象台 <http://www.jma-net.go.jp/hakodate/>

**土砂災害に備えて 早めの避難！**  
**こんな前ぶれ現象に注意！**  
次のような現象を感知した場合は、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ連絡してください。

● 雨に注意しましょう  
土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、また5日以上の総雨量から100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

● 逃げ方を覚えましょう  
土砂流は速度が速いため、流れを背にしたため、流れを背にした場合は、土砂の流れる方向に背を向いて逃げてください。

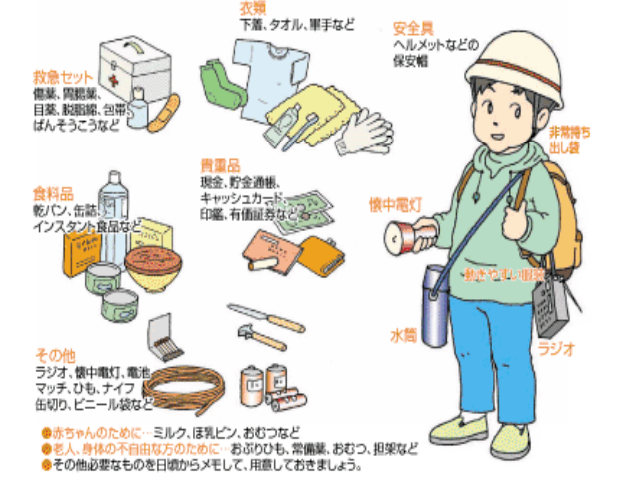
● 避難場所を決めておきましょう  
日頃から家族全員で避難場所や避難経路を決めておきましょう。そうすれば、避難が一層スムーズに行き、避難場所でも避難場所が確保できます。

### 避難の心得

- 避難の勧告等があった場合は、速やかにその指示に従いましょう。
- 近隣の人たちに声を掛け合って集団で避難しましょう。
- 必ず徒歩で避難し、自動車は使わないようにしましょう。
- 避難する前にガスの元栓は閉め、電気器具のスイッチ、電気のブレーカーを切っておきましょう。
- ラジオ、テレビなどの災害情報をよく聞き、あわてず落ち着いて行動しましょう。
- 緊急カードを作成し、持ち歩きましょう。  
緊急カードには、氏名・連絡先(自分、親戚、主治医等)・病歴・健康保険証番号・避難場所などを書いておきましょう。

### 非常持ち出し品

次の例を参考にして非常持ち出し品を用意し、非常持ち出し袋に入れておきましょう。食料、水(1人1日3リットル)は最低3日分は用意しておきましょう。



- 赤ちゃんのために：ミルク、ほ乳びん、おむつなど
- 老人、身体の不自由な方のために：おむつ、常備薬、おむつ、担架など
- その他必要なものを日頃からメモして、用意しておきましょう。

黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。  
赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。  
・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意して下さい。  
・また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などをよく確認しましょう。